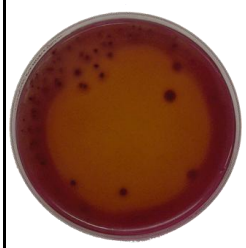
１．試験の背景
財団法人日本食品分析センターによる抗菌力試験（201061491-003号）においては数値表現のみに留まっているので、視覚的効果を充実させるための方法として今回のシャーレ試験を実施した。

２．試験概要
- ○ 試験日時：平成22年７月７日
- ○ 試験場所：帝人エコ・サイエンス株式会社
- ○ 試験実施者：同社、環境計量士
- ○ 検　体：ＤＪ－１　　→　　抗菌力試験（201061491-003号）同一検体
- ○ 試験菌：Escherichia coli（10,000個体/バイアル）
- ○ 培　地：
  分析用寒天培地：　デゾキシコレート培地　日水製薬株式会社
  対照用液体培地：　ＢＧＬＢ培地　日水製薬株式会社

３．試験操作
1) 検体、対象用液体培地それぞれ100mℓに大腸菌１バイアル（10,000個体）を添加する。
2) 大腸菌を添加した検体、対照を35℃で培養する。
3) 0、1、4、24時間後に検体、対照1mℓをそれぞれシャーレに採取し、分析用寒天培地をもち35℃で24時間の培養を行い、写真を撮影する。0時間は対照のみとする。

４．試験結果

| | １時間以内 | １時間後 | ４時間後 | 24時間後 |
|---|---|---|---|---|
| 対　象 |  |  |  |  |
| | IMGP3097.JPG | IMGP3098.JPG | IMGP3099.JPG | IMGP3100.JPG |
| 検　体 |  |  |  |  |
| | IMGP3105.JPG | IMGP3106.JPG | IMGP3107.JPG | IMGP3108.JPG |

対象は時間経過と共に菌の増殖が確認できるが、
検体（ＤＪ-1）は全ての時間経過において菌の増殖及び発生も認められない。
**※対象24時間後の画像は一見すると色が薄く見えるが、菌が飽和状態となって菌のカウントも不可能な状況**

以　上